

災害に備えて

3月11日、未曾有の大震災が東北地方を襲い、美郷町も震度4を記録しました。秋田県内にも、巨大地震の震源になると考えられている箇所が複数存在しています。明治29年（1896年）8月31日に発生した真昼山地を震源とする「陸羽地震」では千畑地区、六郷地区が震度6相当の非常に大きな揺れに見舞われたと伝えられています。美郷町で大規模な災害が発生し、自分や家族が巻き込まれたとき皆さんはどうしますか。

■宮城県塩釜市塩釜港（4月29日撮影）
3月31日から4月30日にかけて、秋田県の派遣チームが宮城県塩釜市で避難所支援にあたりました。美郷町からは延べ10名の職員が派遣されました。

覚えておこう 地震が起きたら

地震は、いつ起きるかわかりません。陸羽地震の発生時刻は午後5時過ぎ、夕食の支度時間にあたります。平成7年（1995年）1月17日に発生した阪神淡路大震災では、冬期間であったことや、老朽化した木造家屋が密集する地域であったことから大規模な火災が発生し、約65万㎡を焼失しています。

地震が発生したら、まずは身の安全を確保しましょう。次に、揺れがおさまったら火の後始末をしましょう。大きな揺れが発生している最中に無理をして火を消そうとすると、火傷をしたり、かえって大きな火災につながる場合があります。

家の中にいるときは

- テーブルの下などに隠れて身の安全を確保する
- 慌てて外に飛び出さない
- ドアを開けて出口を確保する
- テレビやラジオで情報入手する

慌てずに火の後始末を

- ガス器具、ストーブなどの火を止める
- 電化製品の電源を切る
- 火が出ていたら、小さいうちであれば慌てず消火する
- 長期間避難するときは、ブレーカーを落とす

寒い時期を迎え、ストーブなどの暖房器具を使用する機会が多くなります。3月11日の震災で停電を経験し、石油ストーブを準備した家庭も多いのではないのでしょうか。ストーブからの出火は、火災の原因としても多く、取り扱いに注意が必要です。

石油ストーブの取り扱いに注意

- ストーブの上で洗濯物を干さない
- 周りに燃えやすいものを置かない
- そばでスプレーを使用しない
- 外出時や就寝時は必ず火を消す
- 給油は火を消してから行う
- 油種が間違っていないか確認する
- 給油キャップをしっかり締める
- 耐震自動消火装置付きの製品を使用する
- ストーブの近くに倒れやすい家具を置かない（家具を固定する）

家族でチェック 非常時持ち出し品

～美郷町地震防災マップから～

すぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。乳幼児やお年寄りなどで特に必要な物があれば付け加えておきましょう。

- 貴重品（預金通帳）
- タオル・下着・靴下など
- 食品（カップめん、缶詰、乾パンなど）
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 救急医薬品・常備薬
- 小さな子どものいる家庭は…
- ミルク
- 紙おむつ
- ほ乳びん

美郷町 地震防災マップ

今年5月に全戸配布しています。
お持ちでない方は、ご連絡を。
問●町建設課 建設管理班
☎0187(84)4910



家の外にいるときは

- ブロック塀、屋根瓦、ガラスなどに注意する
- 広い場所へ移動する

運転中は

- 交差点を避け、左側に停車する
- ラジオで情報を入力する

わたしたちが 日ごろからできること

地震や台風、大雪など、様々な災害があります。災害が起きたときの状況を想定しながら、自分の行動や家族の備え、避難場所などを確認しておきましょう。

また、災害時には地域の皆さんの助け合いが必要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という理念のもと、町内の各行政区でも自主防災組織が設立されています。各組織の訓練に参加し、必要な知識と技術を身につけ、災害に備えることが重要です。

自然災害は防ぐことができません。対策は災害が発生してからでは遅すぎます。災害が発生していない今だからこそ、わたしたちができる災害対策があるのではないのでしょうか。

□役場庁舎前の給水所（3月12日撮影）
多くの方が列をつくりました。